

業界イメージレポート2019

－アパレル・雑貨販売編－

業界イメージレポート2019－アパレル・雑貨販売編－ とは

「業界イメージレポート2019」は、特定の業界に対してもっているイメージについて、個人に調査した結果をまとめています。本レポートはアパレル・雑貨販売を対象としたものです。

調査対象は4セグメントに分かれます。アパレル・雑貨販売で現在就業している「A. 就業者」、過去に就業経験がある「B. 離職者」、アパレル・雑貨販売での就業経験はないが就業に興味関心はある「C. 意向者」、就業経験がなく就業に興味関心もない「D. 非意向者」です。

アパレル・雑貨販売業界全体に共通する魅力、より高められる魅力を理解する手がかりとしてご活用ください。

【目次】

回答者プロフィール	2
A. 就業者と B. 離職者	3
正社員と正社員以外	5
C. 意向者と D. 非意向者	7

調査概要

- ・調査名：特定業種に関する調査2019
- ・調査目的：求人と求職の需給ギャップがある特定業種における、労働者の実態を把握し、今後解決策を模索する上での基礎資料とすること。
- ・調査方法：インターネット調査（クロス・マーケティング社モニター利用）
- ・調査期間：2019年3月27日（水）～3月31日（日）
- ・調査対象：20～59歳までの男女（全国）
 - －現在、対象業種に従事している人
 - －過去に対象業種に従事したことがある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がない人

セグメントごとの回答者数は下の表のとおり。本レポートの対象はアパレル・雑貨販売の、計800人。

		就業経験者		就業非経験者		(人)
		A. 就業者	B. 離職者	C. 意向者	D. 非意向者	
コンビニエンスストア		200	200	200	200	
アパレル・雑貨販売		200	200	200	200	
飲食店	ファーストフード	200	200	200	200	
	居酒屋	200	200	200	200	
ホテル・旅館		200	200	200	200	
介護サービス		200	200	200	200	
ドライバー		400	400	400	400	
警備		200	200	200	200	
倉庫内作業・仕分け		200	200	200	200	

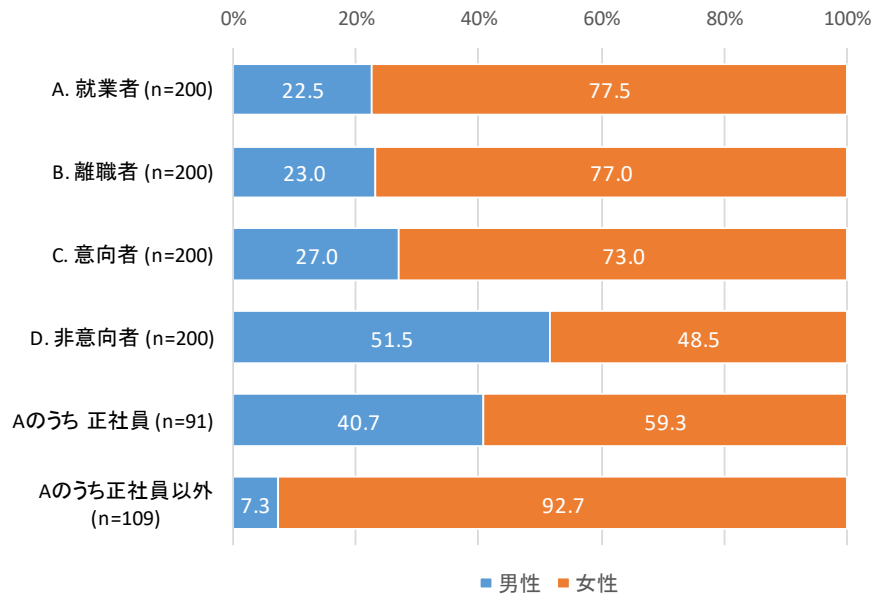
※ なお、四捨五入の関係で数表内の%の合計が100とならない場合がある。

回答者プロフィール

■ 性別

回答者の性別分布は、右のグラフのとおり。A.就業者は女性が77.5%を占めている。

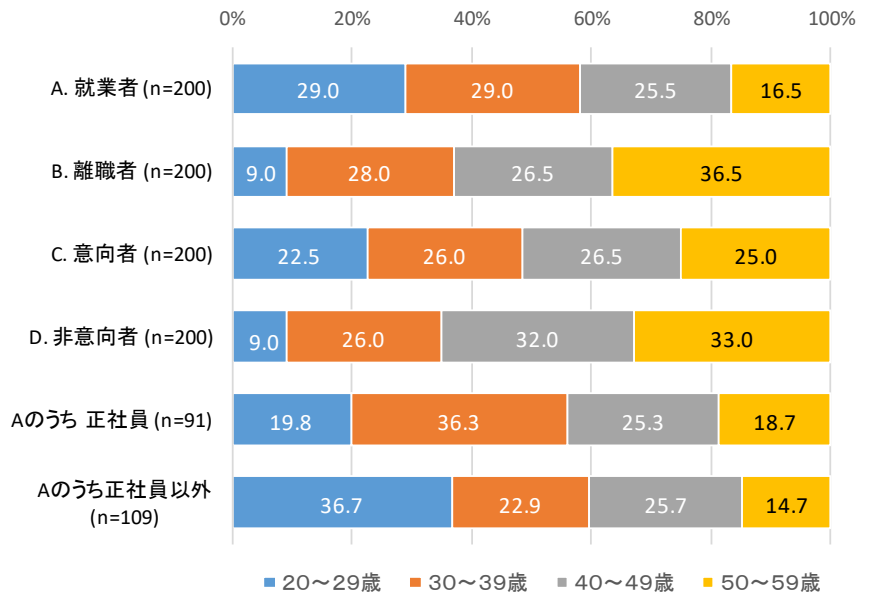
A.就業者のうち、正社員^{*1}では約4割が男性、正社員以外^{*2}では約9割が女性となっている。



■ 年齢

回答者の年齢分布は、右のグラフのとおり。A.就業者では20代と30代がともに29.0%、40代が25.5%となっている。

A.就業者のうち正社員では30代の割合が最も高く、正社員以外では20代の割合が最も高くなっている。



※1 自営業者などを含む。

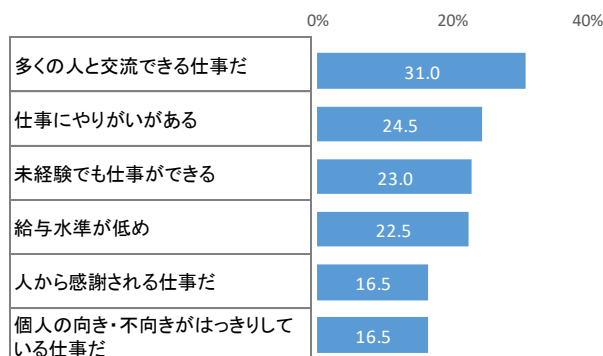
※2 パート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。なお、学生アルバイトは正社員以外のうち0.9%。

業界イメージ 1

A. 就業者と B. 離職者

■ A. 就業者の上位5項目

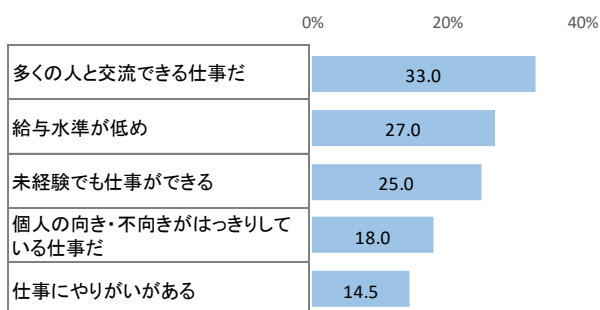
現在就業者にアパレル・雑貨販売のイメージを聞くと、「多くの人と交流できる仕事だ」「仕事にやりがいがある」などポジティブなものが上位にあがった。ただし「給与水準が低め」も割合が高い。



(%, n=200)

■ B. 離職者の上位5項目

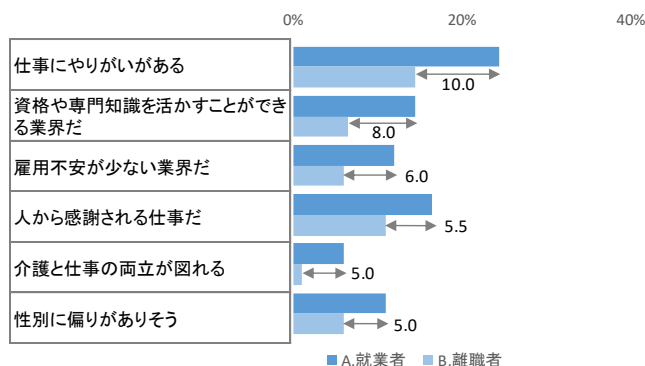
離職者にアパレル・雑貨販売のイメージを聞くと、「多くの人と交流できる仕事だ」をはじめ、就業者とほぼ共通の項目が上位にあがった。



(%, n=200)

■ A. 就業者と B. 離職者のギャップが大きい5項目

両者のギャップが大きい項目は、「仕事にやりがいがある」「資格や専門知識を活かすことができる業界だ」などで、いずれも就業者の方が割合が高くなっている。

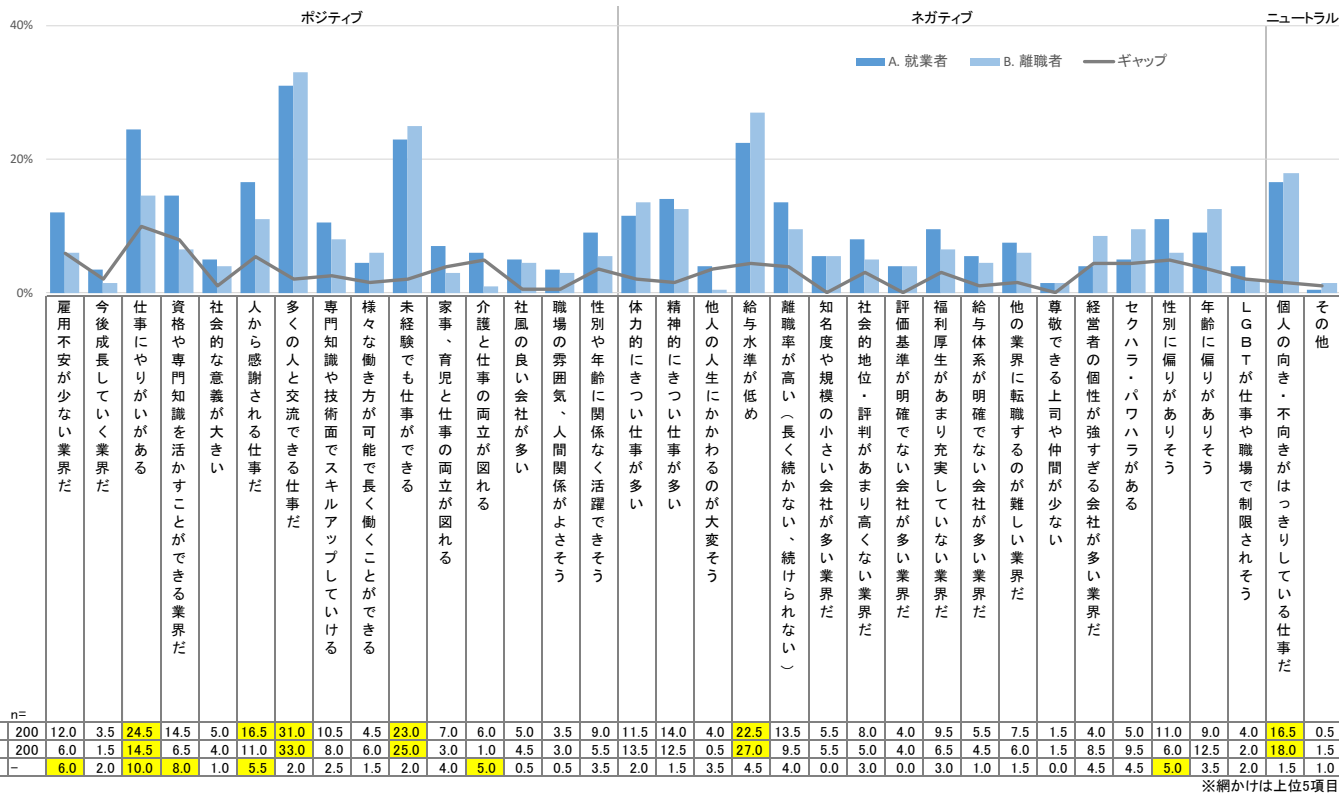


A. 就業者と B. 離職者

アパレル・雑貨販売業界についてどのようなイメージをもっているか、現在アパレル・雑貨販売で働いている就業者と、以前働いていたがすでに辞めた離職者に聞いた。

就業者と離職者の上位項目はほぼ共通しており、「多くの人と交流できる仕事だ」「仕事にやりがいがある」などポジティブなものが上位にあがった。ただし「給与水準が低め」も割合が高い。

両者のギャップが大きい項目を見ると、「仕事にやりがいがある」「資格や専門知識を活かすことができる業界だ」などで就業者の方が割合が高い。ただしその差は10ポイント以下にとどまっている。



【A. 就業者、 B. 離職者】

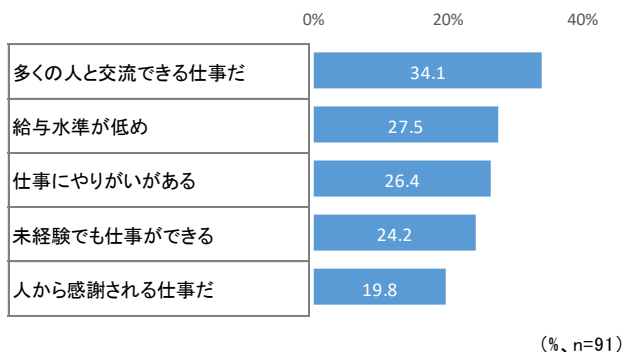
Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／アパレル・雑貨販売の仕事（複数回答）

業界イメージ 2

正社員と正社員以外（A. 就業者）

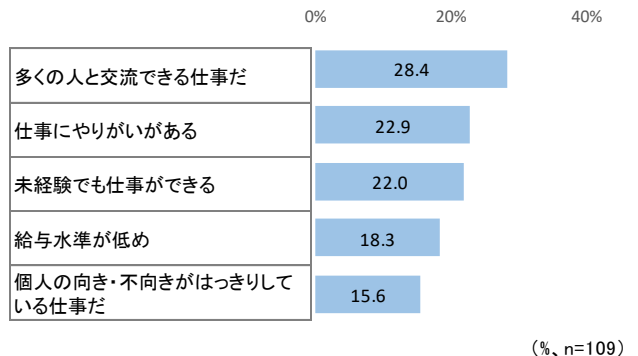
■ 正社員の上位5項目

現在就業者のうち正社員にイメージを聞くと、「多くの人と交流できる仕事だ」「仕事にやりがいがある」などポジティブなものが上位にあがった。ただし「給与水準が低め」も多い。



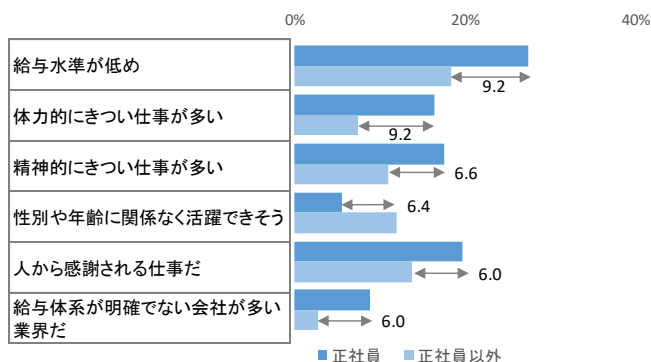
■ 正社員以外の上位5項目

正社員以外にイメージを聞くと、正社員で上位にあがった「人から感謝される仕事だ」に代わり「個人の向き・不向きがはっきりしている仕事だ」が上位に入っている。



■ 正社員と正社員以外のギャップが大きい5項目

両者のギャップが大きい項目を見ると、「給与水準が低め」「体力的にきつい仕事が多い」「精神的にきつい仕事が多い」「人から感謝される仕事だ」「給与体系が明確でない会社が多い業界だ」は正社員の方が割合が高い。

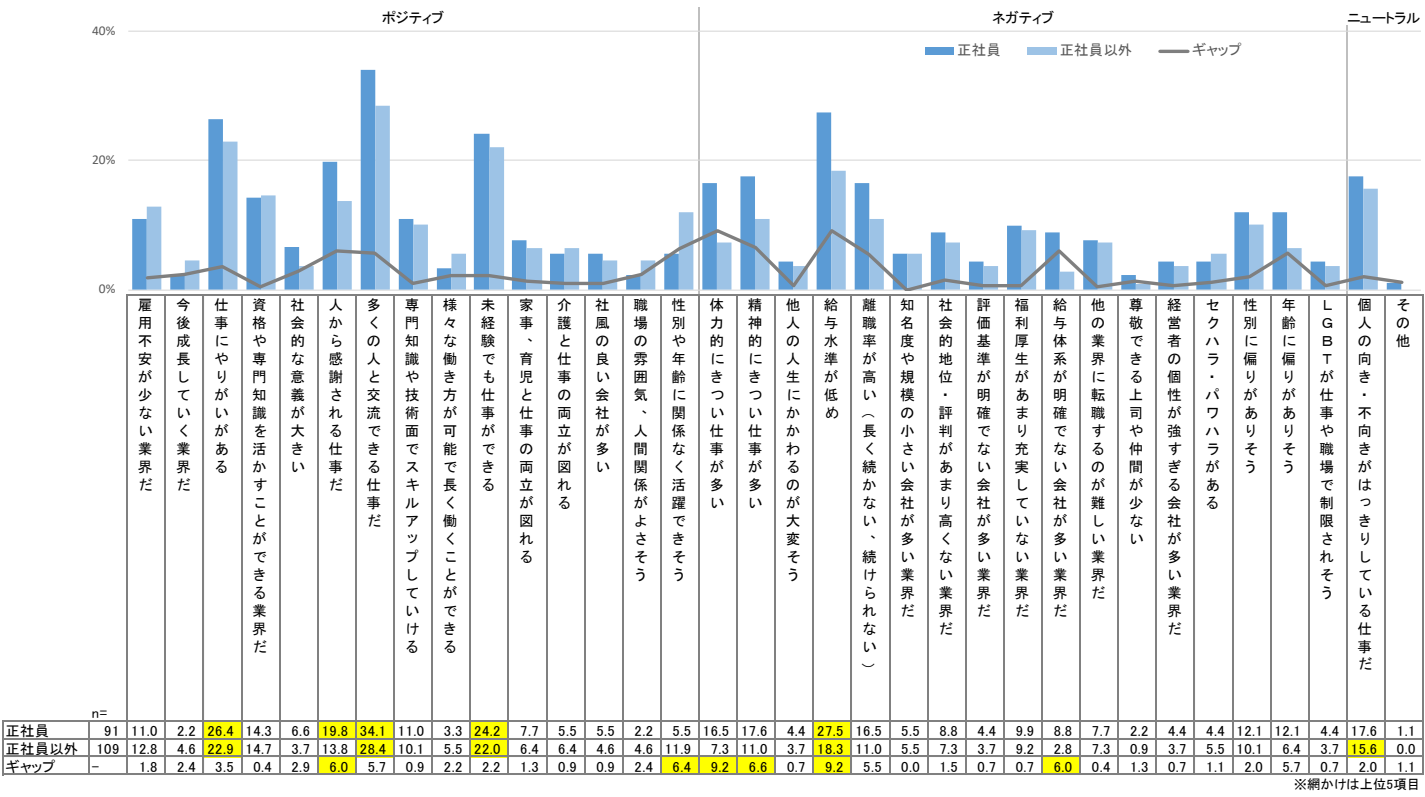


正社員と正社員以外（A. 就業者）

アパレル・雑貨販売についてのイメージを、正社員と正社員以外に分けてみてみよう。

現在就業者のうち正社員にイメージを聞くと、「多くの人と交流できる仕事だ」「仕事にやりがいがある」などポジティブなものが上位にあがった。ただし「給与水準が低め」も多い。正社員以外にイメージを聞くと、正社員で上位にあがった「人から感謝される仕事だ」に代わり「個人の向き・不向きがはっきりしている仕事だ」が上位に入っている。

両者のギャップが大きい項目を見ると、「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」「精神的にきつい仕事が多い」「給与体系が明確でない会社が多い業界だ」は正社員の方が割合が高い。



【A. 就業者】

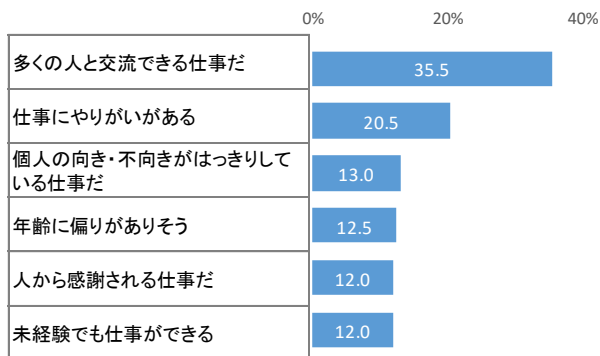
Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／アパレル・雑貨販売の仕事（複数回答）

業界イメージ 3

C. 意向者と D. 非意向者

■ C. 意向者の上位5項目

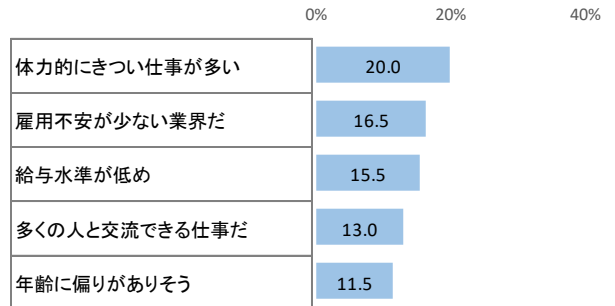
意向者にアパレル・雑貨販売のイメージを聞くと、「多くの人と交流できる仕事だ」「仕事にやりがいがある」とポジティブなものが多く上位にあった。



(%, n=200)

■ D. 非意向者の上位5項目

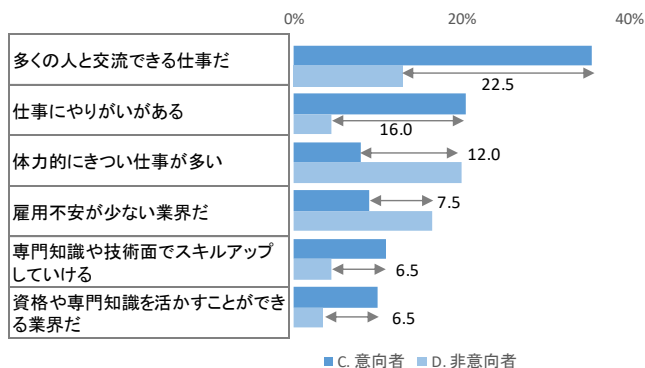
非意向者にイメージを聞くと、最も割合が高いのは「体力的にきつい仕事が多い」だった。ただし割合は2割にとどまっており、業界イメージ自体があまりないと推測される。



(%, n=200)

■ C. 意向者と D. 非意向者のギャップが大きい5項目

「多くの人と交流できる仕事だ」「仕事にやりがいがある」といったポジティブな項目で、意向者の方が割合が高く、ギャップが大きい。「体力的にきつい仕事が多い」は、非意向者の方が割合が高い。



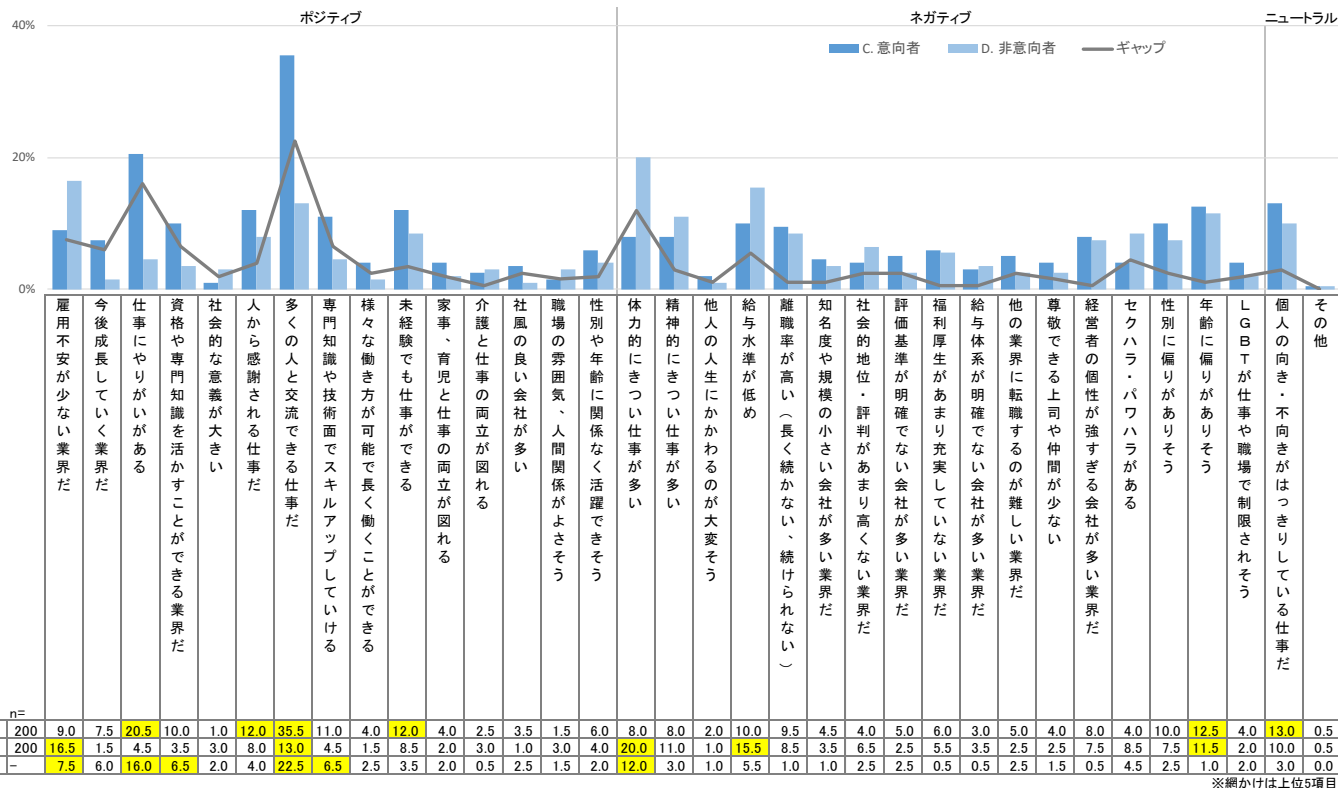
■ C. 意向者 ■ D. 非意向者

C. 意向者と D. 非意向者

意向者と非意向者に、アパレル・雑貨販売のイメージを聞いた。

アパレル・雑貨販売で働いたことはないが働いてみたいという意向者にアパレル・雑貨販売のイメージを聞くと、「多くの人と交流できる仕事だ」「仕事にやりがいがある」とポジティブなものが多く上位にあがった。一方、アパレル・雑貨販売で働いたことはなく、これからも働きたくないという非意向者にイメージを聞くと、最も割合が高いのは「体力的にきつい仕事が多い」だった。ただし割合は2割にとどまっており、業界イメージ自体があまりないと推測される。

「多くの人と交流できる仕事だ」「仕事にやりがいがある」といったポジティブな項目で、意向者の方が割合が高く、ギャップが大きい。「体力的にきつい仕事が多い」は、非意向者の方が割合が高い。



【C. 意向者、D. 非意向者】

Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／アパレル・雑貨販売の仕事（複数回答）